

無料

ご自由にお持ちください

箱根観光情報研究会

箱根観光情報新聞

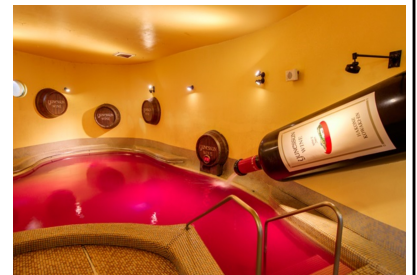
本館で楽しめる箱根小涌園ユネッサン



箱根の中心小涌谷に箱根を代表するリゾート施設箱根小涌園ユネッサンがある。開業は二〇〇一年一月一日。水着を着て各種のプールや温泉を楽しめる温泉のテーマパークだ。

広大な敷地には地中海をイメージした円形の大型スパ、屋外にはロッキーズスプラッシュ、ボザッピーのジャングルジムなどのアトラクションがあり、お子様が思いっきり楽しめる施設となっている。ロッキーズスプラッシュは二〇二五年三月二五日に登場したばかり。三六〇度旋回しながら滑り降りるボシャットライオンと光の輪の中を潜り抜けるカフルラインの二つのコースがある。お子様ならどちらのコースもチャレンジしたくなるだろう。

ボザッピーのジャングルジムはジャングルジムの上設置されたバケツに上から水が注がれている。バケツが一杯になるとバケツが倒れて中の水が頭の上に！本紙が取材中もバケツの下ではお父様と小さなお子様が大笑いしやき。



洞窟風呂は神秘的な雰囲気、冒険気分を満喫できる。また、ワイン風呂、本格コーヒーフ風呂、緑茶風呂、酒風呂などは大人の方にも人気。特にワイン風呂は古くはエジプトのクレオパトラも愛したと言われており、美肌効果も期待できるかも。ユネッサンにはプールや温泉施設以外にもお食事処、おみやげコーナー、コンビニエンスストアなどもあり、ご家族連れやグループで一日楽しめるリゾート施設だ。スマホを持参して写真や動画の撮影もOKなので、ご家族や友達との楽しい一時を写真や動画で記録することもできるので、お薦め。なお、八月、九月の繁忙期は事前予約が必要。ホームページで確認をして欲しい。

裸でいって森の湯



箱根小涌園ユネッサンの中には箱根の大地から湧き出る温泉を素肌でゆっくり満喫できる森の湯という温泉施設がある。文字通り裸でくつろぐことができる温泉で当然、露天風呂もある。泉質はナトリウム塩化物物。保温効果や保湿効果があり期待できる温泉だ。

本紙編集長は今回も単独で入湯。露天風呂は階段状になっているので、上から順番に入る事ができる。森に囲まれた露天風呂で温泉を堪能したい。後日、編集長は「肌のしっとり感が全然違う。」と語っている。

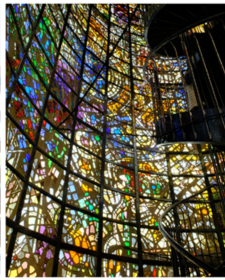
なお、湯上り後はラウンジや休憩室で過ごすこともできる。営業時間は二〇時までなので、夜空を見上げながら露天を楽しむ、渋滞が終わった国道一号線を湯本に下るのもお薦めだ。

お子様も楽しめる彫刻の森美術館



箱根には有名な美術館がいくつもあるが海外からのお客様やご家族連れに特に人気の美術館がある。

海外の方からは「The Hakone Open-Air Museum」と呼ばれている彫刻の森美術館。一九六九年、彫刻の発展に寄与することを目的に、当時の日本では前例がなかった彫刻の美術館として開館。七万平方メートルという広大な敷地に彫刻作品を展示するが、広い敷地にボツボツと展示されているらしく、作品がまとまって展示されている美術館は珍しい。また、敷地内には本館以外にも屋内の展示館が設置されており、企画展やテーマを絞った作品を鑑賞できる。特にピカソ館



が有名だ。
ユニークなのは色彩や造形にお子様は体感で感じることが出来る施設が用意されていることだ。大人の方の利用はNGだが、カラフルな色彩のネットでお子様は遊べる「ネットの森」や



写真提供：彫刻の森美術館



迷路になっている「星の庭」などはお子様連れのご家族にはお勧めだ。小さなお子様には無料のベビーカーの貸し出し、雨の日には無料の傘の用意（数量限定）もある。必要なのは係の方に相談を。
敷地の端には吊り橋や大きな鯉が泳ぐ池もあり、森の中の散策が楽しめる。
美術館の方から、雨の日は雨の日でしか見られない景色が楽しめる上に混雑していないのでお勧めであること、「星の庭」は大人でも楽しめるとの情報をゲットした本紙編集長は改めて雨の日を訪問。

「雨に濡れてコントラストがはつきりした彫刻と背景の山の緑がとても奇麗だった。星の庭の迷路は一人でも充分楽しかった。」とコメントしている。なお、公園ではないので、走り回るのはNGとのことだ。

五月の連休明け、本紙編集長が強羅駅周辺をブラブラしていると知り合いの魚屋の女将さんから「紹介したい店がある。」と連れてこられたのがこのお店。うなぎ元長（もとちよう）。今年四月二十四日にオープンしたばかりのお店。
しかし、本紙は編集長が先に味を堪能するのが基本。そこで後日、こっそりうなぎ（上）をいただきに。ふっくらして美味い。



うなぎ元長

「雨に濡れてコントラストがはつきりした彫刻と背景の山の緑がとても奇麗だった。星の庭の迷路は一人でも充分楽しかった。」とコメントしている。なお、公園ではないので、走り回るのはNGとのことだ。



五月の連休明け、本紙編集長が強羅駅周辺をブラブラしていると知り合いの魚屋の女将さんから「紹介したい店がある。」と連れてこられたのがこのお店。うなぎ元長（もとちよう）。今年四月二十四日にオープンしたばかりのお店。
しかし、本紙は編集長が先に味を堪能するのが基本。そこで後日、こっそりうなぎ（上）をいただきに。ふっくらして美味い。



仙石原に通信教育の星様大学のキャンパスがある。廃校した中学校の施設を活用したキャンパスだ。そのキャンパスの中に食堂があることは本紙も把握していたが、学生でなくとも利用できるのではないかと噂があり、今年初め、本紙編集長が入店。お店の名前は緑と青空のふれあい食堂。中学校の雰囲気は漂う本館の館内を進み、階段



緑青空のふれあい食堂

（税込み）だが、すき焼き単品にご飯と汁椀を付けてリーズナブルな値段で堪能することもできる。
編集長は取材後にこのすき焼きもいたいたらしい。勿論自腹。当人は「この値段でこの味が楽しめて大満足。」と語っている。
夜も営業している。夕食にもお薦めのお店だ。

本紙ではお客様にできる限り正確に情報をお伝えするよう努力しておりますが、紙面の都合上、お店の場所や営業日、営業時間などの詳細をお伝え出来ない場合がございます。お手数をおかけしますが、訪問される前にお店や施設のホームページなどで営業日、営業時間などをご確認ください。よろしくお願いいたします。

本紙ではお客様にできる限り正確に情報をお伝えするよう努力しておりますが、紙面の都合上、お店の場所や営業日、営業時間などの詳細をお伝え出来ない場合がございます。お手数をおかけしますが、訪問される前にお店や施設のホームページなどで営業日、営業時間などをご確認ください。よろしくお願いいたします。

で二階に登ると教室だったところに食堂がある。日替り定食七〇〇〜一、〇〇〇円、かけそば五〇〇円などのメニューが並ぶ。編集長はカツカレーをチョイス。一、〇〇〇円。カツがパリパリしていてとても美味しかったらしい。料理長が手作りに拘った家庭の味を提供するお財布に優しいお店だ。（価格は税込み価格）

お願い

箱根観光情報新聞QRコード



箱根に観光に来たけれど
「どこを見たらいいかわからない。」
「効率的に観光したいけれど・・・。」
とお悩みのあなた
箱根観光は登山ハイヤーがお薦めです。

今すぐ
0120-148-512(携帯OK)へ

